


専門医制度と県内の状況及び 「専門研修に関する和歌山県の意見」について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

ご協議いただきたい内容

- 日本専門医機構及び各基本領域学会は、医師の研修に関する計画を定め、又は変更しようとするときは、厚生労働大臣→都道府県知事へ情報提供を行い、あらかじめ意見を聴かなければならない。
- 都道府県知事は、前述の意見を述べる場合は、あらかじめ地域医療対策協議会の意見を聴かなければならない。

(医師法第16条の10より)

- 
- 日本専門医機構から提供を受けたデータに基づき、専門医制度に係る県内の状況、県内専門研修プログラムの申請・認定状況等について説明。
 - 併せて、専攻医募集に関するシーリング数について説明し、「シーリング対象外とする医師の範囲」について確認。
 - 最後に、「医師法第16条の10に基づく専門研修に関する和歌山県の意見（案）」について説明。ご意見をいただきたい。

県内専門研修プログラムの採用実績

◆ 県内専門研修プログラムの採用実績（平成30年度採用～令和3年度採用）

No.	基本領域	H30	R1	R2年度採用（R1年募集）									R3年度採用（R2年募集）								
		採用数	採用数	定員	シーリング数			採用数(A)			全国採用数 (B)	構成率 (A/B)	定員	シーリング数			採用数(A)			全国採用数 (B)	構成率 (A/B)
					通常	連携	合計	枠内	枠外	合計				通常	連携	合計	枠内	枠外	合計		
1	内科	23	24	45	21	2	23	21	5	26	2,923	0.89%	45	20	3	23	20	14	34	2,977	1.14%
2	小児科	4	5	9				1		1	565	0.18%	9				2		2	546	0.37%
3	皮膚科	3	5	8				1		1	304	0.33%	8				0		0	303	0.00%
4	精神科	2	5	7				3		3	517	0.58%	7				4		4	551	0.73%
5	外科	6	2	14				7		7	829	0.84%	13				3		3	904	0.33%
6	整形外科	9	3	10	9	0	9	8	1	9	671	1.34%	11	9	0	9	4	0	4	623	0.64%
7	産婦人科	4	1	12				3		3	476	0.63%	12				2		2	475	0.42%
8	眼科	4	1	5				4		4	344	1.16%	5				0		0	329	0.00%
9	耳鼻咽喉科	0	3	9				8		8	266	3.01%	9				3		3	217	1.38%
10	泌尿器科	2	3	5				5		5	323	1.55%	5				3		3	312	0.96%
11	脳神経外科	1	2	6				5		5	247	2.02%	6				1		1	255	0.39%
12	放射線科	6	3	15				3		3	247	1.21%	15				1		1	268	0.37%
13	麻酔科	1	3	12				1		1	455	0.22%	12				3		3	463	0.65%
14	病理	0	0	1				1		1	102	0.98%	1				0		0	95	0.00%
15	臨床検査	—	—	—				—		—	14	—	—				—		—	21	—
16	救急科	2	5	8				5		5	279	1.79%	10				1		1	325	0.31%
17	形成外科	2	1	1				0		0	215	0.00%	2				2		2	209	0.96%
18	リハビリ科	3	1	6				6		6	83	7.23%	6				3		3	104	2.88%
19	総合診療	0	0	6				2		2	222	0.90%	6				1		1	206	0.49%
		72	67	179				84	6	90	9,082	0.99%	182				53	14	67	9,183	0.73%

※ 領域別採用数については、日本専門医機構公表資料より引用

県内専門研修プログラムの状況

令和4年度採用
(令和3年募集)

◆県内専門研修プログラムの状況と募集定員 (シーリング調整前)

No.	基本領域	県全体の定員	基幹施設別の定員				
			医大	日赤	生協	ここセン	南和歌山
1	内科	45	30	15			
2	小児科	9	7	2			
3	皮膚科	8	8				
4	精神科	7	6			1	
5	外科	13	9	4			
6	整形外科	12	9	3			
7	産婦人科	12	9	3			
8	眼科	4	4				
9	耳鼻咽喉科	7	7				
10	泌尿器科	6	5	1			
11	脳神経外科	5	5				
12	放射線科	18	8	10			
13	麻酔科	13	10	3			
14	病理	1	1				
15	臨床検査						
16	救急科	10	6	4			
17	形成外科	2	2				
18	リハ科	6	6				
19	総合診療	8	4		2		2

プログラム申請状況	18領域	9領域	1領域	1領域	1領域
-----------	------	-----	-----	-----	-----

※ 臨床研究医プログラムの募集定員を除く

和歌山県立医科大学附属病院

→臨床検査を除く18領域

日本赤十字社和歌山医療センター

→内科、小児科、外科、整形外科、
産婦人科、泌尿器科、放射線科、
麻酔科、救急科 計9領域

和歌山生協病院

→総合診療

和歌山県立こころの医療センター

→精神科

国立病院機構 南和歌山医療センター

→総合診療

5施設・30プログラム

 : 専攻医年度採用実績が350名以上の
基本領域学会は、原則として都道府県
ごとに複数の基幹施設を置く必要がある。
(専門医制度新整備指針運用細則より)

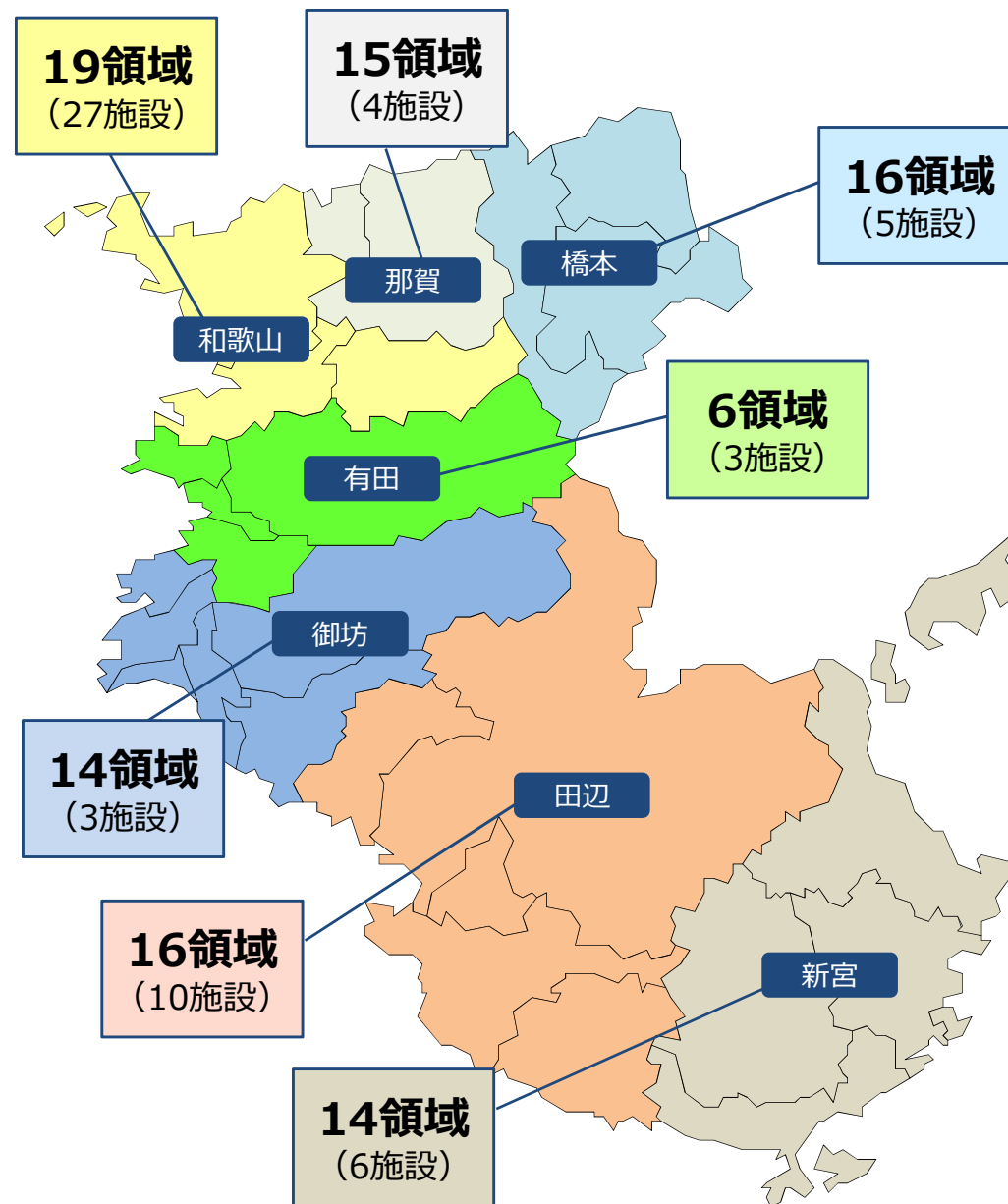
県内研修施設の分布

令和4年度採用
(令和3年募集)

◆ 基本領域別・医療圏別の研修施設数 (単位：施設)

No.	基本領域	医療圏							計
		和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮	
1	内科	13	1	4	2	3	8	4	35
2	小児科	5	1	1		2	1	2	12
3	皮膚科	7	1	2		1	3	3	17
4	精神科	6	1	1	1	1	1	1	12
5	外科	4	1	1	2	2	3	2	15
6	整形外科	8	2	2	2	1	4	2	21
7	産婦人科	5	1	1		1	1	2	11
8	眼科	4		1			1	1	7
9	耳鼻咽喉科	2				1	1		4
10	泌尿器科	5	1	1	1	1	2	1	12
11	脳神経外科	5	1	2		1	1	1	11
12	放射線科	4	1	1			1		7
13	麻酔科	3	1	1		1	2	1	9
14	病理	4	1	1			2		8
15	臨床検査	1							1
16	救急科	3	1	1		1	3	1	10
17	形成外科	3							3
18	リハ科	10	2	1	1	1		1	16
19	総合診療	8	1	3		1	4	1	18

研修可能領域数 (対前年度)	19	15	16	6	14	16	14
	-	-	-	▲1	+1	-	-



※ 県外プログラムの連携・関連施設を含む。

県内研修施設一覧（基本領域ごと）

令和4年度採用
(令和3年募集)

医療圏	研修施設	研修可能領域数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
			内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハ科	総合診療
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	19	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	●	☆	☆	☆	○
	日本赤十字社和歌山医療センター	17	☆	☆	○	○	☆	☆	☆	●	●	☆	○	☆	☆	○		☆	●	○	○
	済生会和歌山病院	5	○				○	○					○								
	橋本病院	1																		○	
	宮本病院	1				○															
	田村病院	1				○															
	和歌浦病院	1				○															
	誠佑記念病院	1	○																		
	和歌山労災病院	15	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○
	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院	1																	○	○	
	中谷病院	1																	○	○	
	角谷整形外科病院	2						○											●		
	角谷リハビリテーション病院	1																	○	○	
	伏虎リハビリテーション病院	1																	○	○	
	和歌山生協病院	3	●																○	○	☆
	中江病院	1	○																		
	向陽病院	2										○	○								
	愛徳医療福祉センター	3		○				○												○	
	海南医療センター	8	○	○				○	○	○		○				○					
	国保野上厚生総合病院	5	○		○	○		○													○
	紀美野町立診療所（国吉・長谷毛原・真国・細野）	3	○(4)		○(2)																○(2)
	河西診療所	1																			○
	うつのみやレディースクリニック	1							○												
	和歌山南放射線科クリニック	1												○							
那賀	公立那賀病院	13	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○		○			○
	紀の川病院	1				○															
	名手病院	1																	○	○	
	貴志川リハビリテーション病院	2						○											○	○	
橋本	橋本市市民病院	13	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○		○			○
	県立医科大学附属病院紀北分院	6	○					○		○			○						○	○	☆
	紀和病院	1	●																		
	紀の郷病院	1				●															
	高野山総合診療所	3	○		○																○
有田	県立こころの医療センター	1				☆															
	有田市立病院	4	○				○	○				○									
	済生会有田病院	4	○				○	○												○	
御坊	国立病院機構 和歌山病院	4	○	○			○	○					○								○
	ひだか病院	11	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○			○			
	北出病院	3	●				●												○		
田辺	国立病院機構 南和歌山医療センター	10	○		●		○	○					○	○	○	●		○			☆
	紀南病院	13	○	○	○		○	○	○	●	○	○			○	○		○			○
	紀南こころの医療センター	1				○															
	白浜はまゆう病院	5	○					●				●						○			○
	田辺中央病院	1						●													
	国保すさみ病院	4	○		○		○														○
	すさみ町立診療所（大附・佐本・大鎌）	1	○(3)																		
新宮	川添診療所（白浜町）	1	○																		
	新宮市立医療センター	10	○	○	○		○	○	○			○	○		○			○			○
	那智勝浦町立温泉病院	3	○																○	○	
	串本有田病院	1								●											
	くしもと町立病院	6	○	●	○		●	●	●												
	潮岬病院	1				○															
新宮	北山村診療所	2	○		○																
	研修施設数	19	35	12	17	12	15	21	11	7	4	12	11	7	9	8	1	10	3	16	18

☆：基幹施設 ○：連携・関連施設（県内プログラム） ●：連携・関連施設（他府県プログラムのみ） ：新たに追加された連携・関連施設

県内研修施設一覧（プログラムごと）

令和4年度採用
(令和3年募集)

医療圏	県内公的病院	医師多数・少数区域	医師少数スポット	1		2		3	4		5		6		7		8	9	10		11	12		13		14	16		17	18	19			
				内科		小児科		皮膚科		精神科		外科		整形外科		産婦人科		眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科		脳神経外科	放射線科		麻酔科		病理	救急科		形成外科	リハビリ科	総合診療		
				医大	日赤	医大	日赤	医大	医大	県立こころ	医大	日赤	医大	日赤	医大	日赤	医大	日赤	医大	医大	医大	日赤	医大	医大	日赤	医大	日赤	医大	医大	日赤	医大	医大	紀北分院	生協
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	多数		☆	○	☆	○	☆	☆	○	☆		☆		☆	○	☆	☆	☆	◎	☆	☆		☆	○	☆	☆	○	☆	☆	○	○	○	
	日本赤十字社和歌山医療センター			○	☆	○	☆	○	○	○	◎	☆		☆	○	☆			◎	☆	○		☆	○	☆	○	○	☆			○	○		
	済生会和歌山病院			○	○						○		○								○										◎			
	和歌山労災病院			○	○	○		○			○		○		○	○	○		○		○	○		○		○	○			○		○		
	和歌山生協病院																													○	○	☆		
	海南医療センター			○	○	○		○				○		○		○		○								○								
	国保野上厚生総合病院		適	○				○	○	○			○																		○			
那賀	公立那賀病院			○		○			○		○		○	○			○		○	○		○		○	○	○			○					
橋本	橋本市民病院	多数	適	○	○	○		○			○		○		○	○			○		○	○		○		○	○				○		○	
	県立医科大学附属病院紀北分院	適	○									○					○			○										○	☆			
有田	県立こころの医療センター	少数						○	☆																									
	有田市立病院			○	○					○		○						○																
	済生会有田病院			○						○		○																		○				
御坊	国立病院機構 和歌山病院	多数		○		○				○																				○				
	ひだか病院	適	○		○		○	◎				○		○	○		○	○		○			○			○								
田辺	国立病院機構 南和歌山医療センター	多数	適	○						○	◎	○								○	○		○				○	○			○		☆	
	紀南病院		適	○		○		○		○		○	○	○		○	○					○		○	○	○				○		○		
	紀南こころの医療センター		適					○	○																									
	国保すさみ病院		適	○				○		○																				○	○	○		
新宮	新宮市立医療センター	少数		○		○		○		○		○		○				○		○		○				○	○							
	那智勝浦町立温泉病院			○																									○	○	○			
	くしもと町立病院			○			○																											
研修施設数（基幹施設＋連携施設等）				19	7	10	2	12	6	5	13	2	14	2	9	7	4	3	10	2	10	5	1	9	2	7	9	8	1	7	12	6	5	
医師少数区域・医師少数スポットの研修施設数				12	2	4	0	7	4	3	7	1	9	1	4	3	1	2	5	0	5	2	0	5	0	2	5	4	0	3	7	2	4	

☆：基幹施設 ○：連携・関連施設 ◎：新たに追加された連携・関連施設

専門研修募集定員シーリングについて

◆ シーリングに係るこれまでの経緯

H30年度採用
(H29年募集)

- 都市部への専攻医集中を抑制するため、五大都市（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県）について、各診療科のシーリング数（過去5年の専攻医採用実績の平均値）を設定

R1年度採用
(H30年募集)

- 東京都のシーリング数をさらに5%削減

R2年度採用
(R1年募集)

- 各都道府県別診療科の必要医師数及び必要養成数に基づきシーリング数を設定

当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（21※） 整形外科（9※）
ただし、県立医大地域医療枠・近大医学部和歌山県地域枠・自治医大卒医師はシーリング対象外

R3年度採用
(R2年募集)

- 前年度と同様の方法でシーリング数を設定（計算方法の変更等あり）

当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（20※） 整形外科（9※）
ただし、地域枠医師（前年度の対象外医師＋県立医大県民医療枠）はシーリング対象外

R4年度採用
(R3年募集)

- 再計算は行わず、前年度と同数値でシーリング数を設定

当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（20※） 整形外科（9※）
シーリング対象外の対応方針について確認（次頁へ）

※ 括弧内の数値は連携枠を除いたシーリング数

専門研修募集定員シーリングについて

【令和4年度専攻医募集の考え方】（R3.2.19 日本専門医機構理事会決定）

- ・令和4年度のシーリングは、令和3年度の採用数を用いた再計算を行わず、令和3年度と同じ数値とする。
- ・連携プログラムに関する規定や、シーリング対象外とする者の考え方についても令和3年度と同様とする。ただし、令和4年度においては医師少数区域または医師少数スポットで研修を行う予定の者のみをシーリングの対象外とする。

対応方針(案)

- ・ 医師少数区域等で研修を行う予定の、和歌山県立医科大学地域医療枠・県民医療枠、近畿大学和歌山県地域枠(へき地医療コース)、そして自治医科大学卒業医師については、希望者全員をシーリング対象外で採用することとしてはどうか。

シーリングの枠外とする地域枠医師及び自治医大卒医師について、地域医療対策協議会の承認を得たうえで、リストを作成のうえ、提出すること。

(R2.10.6日本専門医機構通知より)

前年度に提出した意見の反映状況について

〔県から厚生労働省へ提出した意見〕

(意見の詳細及び回答は次ページ以降)

I 専門医制度全般に関する意見

1. 専門研修プログラム募集定員について： 5 項目
2. 地域枠医師の取り扱いについて： 2 項目
3. 専門医制度の運用について： 1 項目

II 個別研修プログラムに関する意見： 3 項目

III 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた意見： 1 項目

前年度に提出した意見の反映状況について

令和2年度第3回
医療対策協議会資料一部改変

I 専門医制度全般に関する意見

1. 専門研修プログラム募集定員について

No.	本県の意見		日本専門医機構又は厚労省からの回答	評価
①	専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること	継続	令和2年4月のデータを解析し、令和3年度以降の医師偏在が悪化しないような方策をとっていく。 (R2.10.16日本専門医機構回答)	△
②	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること	継続	(未回答)	×
③	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること	継続	大学病院などの医師の教育・研究のエフォート（時間の配分率）を明確にするため、各大学や文部科学省とも協力して検討する。 (R2.10.16日本専門医機構回答)	△
④	必要医師数の算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、シーリングに係る計算方法の全容を明らかにすること	継続	(未回答)	×
⑤	東京都への専攻医の集中を抑制できていない状態で募集された過去3年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと	継続	(未回答)	×

I-2. 地域枠医師の取り扱いについて

No.	本県の意見		日本専門医機構又は厚労省からの回答	評価
①	修学資金の貸与を受けていないが、「別枠方式で選抜」「志願時に本人、保護者が従事要件に同意」「卒直後より当該都道府県内で9年間以上従事する」「都道府県のキャリア形成プログラムに参加」という「地域枠」の定義を満たす医師についても、専門研修プログラムの募集定員外での採用を可能とすること	新規	新たに示された定義に準じた以下の要件をすべて満たす地域枠医師はシーリング枠外とする。 ①別枠方式により選抜 ②卒後9年間の従事要件 ③大学入学時に都道府県と本人、保護者が従事要件に書面同意 ④都道府県のキャリア形成プログラムを適用 (R2.10.6日本専門医機構通知)	○

前年度に提出した意見の反映状況について

令和2年度第3回
医療対策協議会資料一部改変

I-2. 地域枠医師の取り扱いについて（続き）

No.	本県の意見		日本専門医機構又は厚労省からの回答	評価
②	地域での従事要件が課されている医師については、他地域（他の都道府県）の専門研修プログラムに採用されない仕組みを構築すること	継続	日本専門医機構のプログラムシステムに登録された専攻医について、都道府県の同意を得ずに離脱した者がいないことを都道府県に確認する。都道府県の同意を得ずに地域枠を離脱し、専門研修を開始した専攻医の取り扱いについては、基本領域学会とも協議し、原則、日本専門医機構の専門医の認定を行わない。認定する場合も、都道府県の承認が得られた場合に限ることとする。（R2.10.16日本専門医機構回答）	○

I-3. 専門医制度の運用について

No.	本県の意見		日本専門医機構又は厚労省からの回答	評価
①	専門研修制度の変更等にあたっては、地方から提出された意見については最大限配慮するとともに、その反映状況について報告すること	継続	各制度の見直しに際して、地域医療に影響を与える恐れのあるものについては、相談の上、時間を設けて地域の意見に配慮させていただく。（R2.10.16日本専門医機構回答）	△

II 個別研修プログラムに関する意見

No.	本県の意見		基本領域学会又は各基幹施設の対応状況
①	和歌山県立医科大学形成外科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること	新規	日本形成外科学会において未対応。
②	日本赤十字社和歌山医療センター外科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること	継続	令和4年度採用（令和3年募集）のプログラムより、南和歌山医療センターを連携施設として追加。
③	日本赤十字社和歌山医療センター放射線科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること	継続	日本医学放射線学会より、県内連携施設を追加しなければ専攻医の採用を認めない旨病院あて通知。病院として対応を検討中。

III 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた意見

No.	本県の意見		日本専門医機構又は厚労省からの回答	評価
①	新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、専門研修プログラム募集定員のシーリングは中断するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題を踏まえ、専門研修制度について必要な見直しを行うこと。	新規	（未回答）	×

専門研修制度に関する和歌山県の意見（案）

〔県から厚生労働省へ提出予定の意見〕

（意見の詳細は次ページ以降）

I 専門医制度全般に関する意見

1. 専門研修プログラム募集定員について： 5 項目 継続
2. 専門医制度の運用について： 1 項目 継続

II 個別研修プログラムに関する意見： 2 項目 継続

III 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた意見： 1 項目 継続

専門研修制度に関する和歌山県の意見（案）

I 専門医制度全般に関する意見

1. 専門研修プログラム募集定員について

- ① 専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること 【継続】

〔 東京都への専攻医の集中を是正するためのシーリングならば、全国一律で同じ算定方法を用いる必要はなく、地理的条件や医師偏在等の地域の実情を十分に反映した算定方法を用いるべきである。 〕

- ② シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること 【継続】

〔 医師・歯科医師・薬剤師調査（統計）における診療科別医師数は、専門医資格保有者数とは異なっていることから、専門医制度で養成する医師については、病院勤務医を前提として算定すべきである。 〕

- ③ シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること 【継続】

〔 大学病院には多数の医師が在籍しているが、それらの医師は臨床に加えて、教育・研究にも従事していることから、大学病院の医師については、臨床に従事する時間等に応じて算定の割合を変動させるなど、一定配慮すべきである。 〕

専門研修制度に関する和歌山県の意見（案）

1. 専門研修プログラム募集定員について（続き）

- ④ シーリングの算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、具体的な計算方法の全容を明らかにすること 【継続】

シーリング後の募集定員が地域医療に影響を及ぼすかどうかを検証するためには、シーリング数の算定根拠等が必須であることから、シーリング算定にあたって使用した全てのデータを提供すべきである。

- ⑤ 東京都への専攻医の集中を抑制できていない過去 3 年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと 【継続】

2018年～2020年の採用実績は、東京都への集中が問題となっている状態での実績であることから、過去 3 年間の採用実績をシーリングの算定に用いるべきではない。

2. 専門医制度の運用について

- ① 専門研修制度の変更等にあたっては、地方から提出された意見については最大限配慮するとともに、その反映状況について報告すること 【継続】

専門研修について、地方の声を聞くための仕組みを法定化した趣旨を踏まえ、地方から提出された意見については、その反映可否とともに、反映できない場合の理由について、地方へ明確にフィードバックすべきである。

専門研修制度に関する和歌山県の意見（案）

Ⅱ 個別研修プログラムに関する意見

日本専門医機構に提出・審査された、県内の個別専門研修プログラムの内容については、地域の医療体制の確保に与える影響への配慮の観点から、改善を求める事項がある場合、地域医療対策協議会の意見を聞いた上で、国へ意見を提出することとなっている。

専門研修プログラムの内容について、以下のポイントから、地域の医療提供体制への影響を確認し、下記のとおり意見する。

- 県内に必要な専門医を早急に養成するという観点から、**県内で複数名以上の募集定員を確保できているか**
- 県内の医師確保対策としての観点から、**全ての研修期間を県内の医療機関で研修できるプログラムとなっているか**

- ① 和歌山県立医科大学形成外科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること【継続】
- ② 日本赤十字社和歌山医療センター放射線科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること【継続】

〔 当該プログラムは、県内には連携施設がなく、県外に連携施設を有するだけのプログラムとなっていることから、県内の医師確保対策に資するプログラムとなるよう、県内にも連携施設を設定すべきである。 〕

専門研修制度に関する和歌山県の意見（案）

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた意見

- ① 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、専門研修プログラム募集定員のシーリングは中断するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題を踏まえ、専門研修制度について必要な見直しを行うこと。【継続】

今般の新型コロナウイルスへの対応においては、医師多数地域においてでさえも内科専門医の不足が問題となっている。

今後起こりうる様々な事象に柔軟に対応できるだけの専門医を十分に確保する必要があることは、今回の新型コロナウイルス感染症への対応をみても明らかであるが、シーリングを実施することにより、将来必要な専門医を確保することが困難になる。

そのため、新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、シーリングを中断した上で、今回の新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題を踏まえ、専門研修制度について必要な見直しを検討すべきである。